

全学教育科目の時間割に関する アンケートで寄せられた 代表的意見およびその回答

各ページについて、緑色で塗られた吹き出しが学生からの代表的な意見、白い吹き出しがそれに対する回答です。

学務審議会全学教育新カリキュラム点検・改善WG



はじめに

4月下旬から5月中旬に実施したアンケートでは、多くのご意見をお寄せいただきありがとうございました。

お寄せいただいたご意見については、全学教育科目の時間割やカリキュラムの改善のために活用させていただきます。

また、一部専門科目や履修要件に関するご意見もお寄せいただきましたが、それらは各学部で共有しています。

今後も履修上の不都合点や改善を希望する点が生じた場合には、教務課窓口までお寄せください。

(専門科目に関する点については、各学部教務係に直接お申し出ください。)

(1) 曜日ごとの時間割配置について

- ・ある曜日には必修の科目が集中しているが、一方で別の曜日には履修できる授業がほとんどなく、バランスが悪いので改善いただきたいです。
- ・1コマ空きが生じる時間帯を解消してほしいです。

各科目とも、担当できる先生や講義室の数に限りがあるため、一部の学部・学科においては科目が集中していたり、逆に空き時間が多く発生したりすることはどうしても避けられません。

空き時間が発生した場合には、各科目の課題など授業時間外学修の時間としてご活用願います。1単位の授業科目は45時間の学修を必要とする内容で構成されることとなっており、例として**2単位の講義科目の場合は、15回の授業受講に加え、授業1回あたり4時間の予習・復習を必要**とします。この考え方を念頭に、**選択科目を詰め込みすぎない時間割にするよう工夫**してください。

(2) 人文科学・社会科学・学際科目群の履修について

- ・同じ時間帯に科目が集中しすぎているため、開講時間帯を分散させてほしいです。
- ・当該時間帯に専門科目や他の全学科目が設定されていないにもかかわらず、学部によって履修できる学部とそうでない学部があるため、すべての学部が履修できるようにしてほしいです。

学生が1 Semester 当たりで授業科目を履修しすぎないようにすること（時間割配置に関する回答も参照）と、開講授業数の肥大化を防ぐために新カリキュラムでは開講時間帯を限定しています。学部によって受講できる時間帯が異なるのは、すべての学部を対象としてしまうと、受講生がその時間帯に集中しすぎて、抽選科目が現状以上に多くなることや、講義室が不足してしまう事態を避けるためです。

2年生での他科目との重複を心配されている方も多いかもしれませんが、**令和5年度以降は2年生でも前期・後期とも1年生と同じ時間帯で人文・社会・学際各科目を受講できます。**

具体的には、3セメの火2は全学部で、木2は理系学部で、それぞれ受講可能となります。

2年生までの間に履修し終える設計になっているため、希望の科目が履修できない場合には、その時間は別の科目を受講し、希望の科目を次Semester以降で履修するなど、工夫してください。

令和5年度は開講される時間帯が1・2年生で共通化され、より多様な科目を1・2年生が同時に履修できるようになっていると思われます。

開講時間枠の拡充については、安易に導入すると各学生の履修科目数が増えてしまうため、各科目の履修者数も勘案して慎重に検討します。

(参考)人文・社会・学際の各科目群開講時間帯・対象学部一覧

<前期火曜2講時>

・1セメ:文・教育・理の各学部、工学部6～14組 3セメ:全学部

(1セメの法・経済:学際のみ履修可)

<前期木曜2講時>

・1セメ:法・経済・薬・農の各学部、医学部医学科、工学部1～5,15,16組 3セメ:理系学部

(1セメの文・教育:学際のみ履修可)

<後期火曜2講時>

・2セメ:文系学部、工・農の各学部 4セメ:工・農の各学部、理学部地球科学系

<後期水曜1講時>

・2セメ:文・教育・医・歯・農の各学部、工学部1～5,13～16組 4セメ:医・歯・薬の各学部

<後期金曜1講時>

・2セメ:法・経済・理・歯・薬の各学部、医学部保健学科、工学部6～12組

緑色で示した学部・学科は、当該時間帯は人文・社会のみ履修可能です(学際は履修不可)。

上記の時間帯には、他の必修科目や専門科目が入らないよう調整しています。

万一専門科目が重複した場合の対応については、各学部教務係にご確認ください。

(3) 初修語(基礎ロシア語・基礎朝鮮語)について

- ・ 5講時に開講されている基礎初修語について、同じ講時に開講されている先進科目が履修できないほか、自学部向けに開講されている他の初修語の時間帯でほかに履修する授業がなく空きコマになることから、他の初修語と同じ時間帯で開講してほしいです。
- ・ 【理学部化学科の学生】火曜は4講時まで青葉山で授業があり、5講時の基礎初修語は川内で対面授業となり、10分間での移動が間に合いません。

ロシア語および朝鮮語については、受講者数規模と担当教員確保の都合で全学部共通の時間設定にせざるを得ず、その関係で5講時以外の設定が不可能な状況にあることをご理解いただければ幸いです。

繰り返しの回答となりますが、**授業の入らない時間帯は授業時間外学修の時間として活用願います。**

理学部化学科には、5講時の基礎初修語の履修に影響が生じないように専門科目を開講する（川内キャンパスでの開講に変更する、または終了時刻を早める）ことについて、申し入れを行っていきます。

(4) 医学部医学科学生の全学教育科目履修について

なるべく1セメのうちに全学教育科目を多く履修するように学部から指示が出されていますが、水曜4講時は国際教育科目以外に開講されている科目がなく、抽選に落ちると空きコマとなってしまうため、当該時間帯にある程度の受講者を抽選なしで収容できる科目を開講してほしいです。

まず、1単位は45時間の学修を必要とする内容をもって構成されており、**科目を詰め込みすぎるとその分だけ授業時間外学修の時間が増大する**ことはご理解願います。

そのうえで、教員の都合もあるため設定については確約できませんが、この時間帯に需要があることについて関係する科目の担当教員にお知らせし、開講科目の充実を模索していきます。また、カレント・トピックスのMOOC科目など、枠外で開講している科目もご活用願います。

なお、学部からの指示が1セメにおいて過度な負担を強いるものでないかどうか、医学部に確認いたします。

(5) 抽選について

- ・ 抽選に外れ、履修したい授業に参加できませんでした。
- ・ 履修希望者に対して受講可能人数が少ないため、受講者数の拡充をお願いします。
- ・ 抽選の実施見込み、方法が事前に周知されておらず、また抽選結果の発表も遅いため、外れた場合に他の科目を履修するのが困難でした。

人文・社会・学際各科目群については、なるべく100名未満の人数制限を行わないように各教員に依頼しております（一部使用講義室等の都合で例外あり）。

また、今年度については**昨年度の履修登録状況を踏まえ、開講コマ数を増やした授業もあります**（心理学、生命科学入門など）。それでも特定の教員の授業に受講者が集中する傾向が見られますため、抽選漏れや混雑を懸念されるようでしたら、同時時間帯の他科目を履修するようご協力願います。

国際教育科目については、留学生との共修という形をとる授業が多い都合、少人数のゼミ形式での実施となり少なめの人数制限をかける科目が生じてしまうことはどうしても避けられません。

周知については、担当教員に対しシラバスや授業実施方法一覧にておおよその定員を明記したうえで、すみやかに結果を知らせるよう依頼してまいります。

(6) キャンパス間移動について

- ・ 専門科目と重複したため、全学教育の取りたい科目が履修できませんでした。
- ・ 10分間で川内北と青葉山（または川内南）の移動があり、履修が困難です。

先進科目については2年次以上でも履修できるよう多くの授業が5講時に設定されていますが、各学部での専門科目との重複、およびキャンパスが異なる場合に移動が生じてしまうのはどうしても避けられないことです。

令和6年度以降は3年次以上向けにオンラインを活用した授業が複数開講される予定です。教職科目については、10分間での移動に困難が生じる場合は、なるべく集中講義を履修してください。

また、文系の川内南キャンパスとの移動については、旧来より10分間での移動は許容されており、これが認められないと多くの科目の開講に支障が生じます。**終了時間を超過しがちの教員がいる場合には、全学・専門を問わず授業担当教員にご相談ください。**

どうしても両科目の履修が困難である場合は、どちらかを翌年度以降に回せないかどうか、検討してください。